

平成29年度

第1回木更津市史編集委員会

日時 平成29年 7月27日(木)
午後3時15分から

場所 木更津市役所朝日庁舎会議室B

1. 開 会

2. 教育長あいさつ

3. 自己紹介

4. 議題

委員長、副委員長選出について

5. 委員長あいさつ

6. その他 報告事項

7. 閉 会

議 事

委員長、副委員長の選出

(参考)

附属機関設置条例（平成 25 年 9 月 28 日条例第 28 号）

(会長及び副会長)

第4条 会長又は委員長（以下「会長」という。）及び副会長又は副委員長（以下「副会長」という。）は、委員の互選によつてこれを定める。

- 2 会長は当該附属機関の事務を総理し、当該附属機関を代表する。
- 3 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長の欠けたときは、その職務を代理する。
- 4 副会長が置かれていない附属機関にあつては、会長に事故のあるとき又は会長が欠けたときは、会長があらかじめ指定する者が会長の職務を代理する。

委員長

梶 山 林 継 委員

副委員長

成 田 篤 彦 委員

報告事項

1. 平成28年度木更津市史編集委員会

実施日程	内 容
第1回木更津市史編集委員会(8月8日)	議題1 著作権の取り扱いについて 議題2 執筆要項について
第2回木更津市史編集委員会(11月7日)	議題1 著作物利用に関する覚書について 議題2 執筆要項について ②
第3回木更津市史編集委員会(3月27日)	議題1 木更津市史編集基本構想及び基本方針の一部改正について

2. 木更津市史編集部会設置状況

木更津市史編集部会 各専門部会部会長・部会委員名簿

考古部会		古代部会		中世部会	
部会長	加藤修司	部会長	河名 勉	部会長	滝川恒昭
部会委員	阿部昭典 上野祥史 小澤 洋 小高春雄 島立 桂	部会委員	吉井 哲 石和田秀幸	部会委員	川戸貴史 盛本昌広 湯浅治久 柴 裕之

近世部会		近現代部会		民俗部会		自然部会	
部会長	小関悠一郎	部会長	池田 順	部会長	和田 健	部会長	山田 真
部会委員	石山秀和 川崎史彦 實形裕介 菅根幸裕 本間岳人 渡邊義孝	部会委員	栗原克榮 駒 早苗 高木澄子 三浦茂一 渡邊義孝	部会委員	田村 勇 松田睦彦 菅根幸裕 島立理子 入江英弥 小田島高之 佐山淳史 福澤 陽	部会委員	相澤敬吾 小倉文子 篠崎 貞 田村 満 藤平量郎 成田篤彦 湯谷賢太郎

平成29年7月1日付委嘱者数 44(42)名

3. 各専門部会活動報告

部会名	近世部会	部会長名	小関 悠一郎
平成29度の活動計画	<p>金田地区を重点地区として順次各地区の資料収集調査 市内石造物調査 市内建造物調査 千葉県文書館収蔵資料調査 郷土博物館金のすず収蔵資料調査</p>		
平成29年1月から平成29年6月までの実施内容・進捗状況	<p>金田地区資料収集調査（金田公民館収蔵資料調査、同地区鹿島家・緒形家訪問調査を実施） 富来田地区資料収集調査・資料整理（鈴木家訪問調査〈近代部会と合同〉、同家の襖下張り文書の整理を実施） 鎌足地区資料収集調査（鎌足公民館訪問調査を実施） 木更津市図書館所蔵和本調査（中央大学・一橋大学調査チームと共同調査を実施） 郷土博物館金のすず収蔵資料調査 市原市龍溪寺林家墓所調査 石造物所在確認調査（近世墓標中心、富来田地区を実施）</p>		
これまでの取組に係る課題点・懸案事項	<p>当初の想定より新出史料が少ないため、刊行計画における、史料編の地区構成について再検討する必要がある。 波岡地区の史料に関する情報が不足しており、史料の空白地帯になっているため、対策が必要である。</p>		
平成29年7月から平成29年9月までの調査等予定・見込み	<p>郷土博物館金のすず収蔵資料調査 八剱神社・真如寺資料調査 金田地区・鎌足地区資料調査（整理済資料の閲覧を主とする） 鈴木家襖下張り文書の整理の継続 木更津市図書館所蔵和本調査の継続（寄贈者名からの遡及調査を含む） 富津市菱田家旧蔵資料〈恵春庵保管分〉の整理 市内石造物調査（所在調査および本調査） 市内建造物調査</p>		

部会名	近現代部会	部会長名	池田 順
平成29度の活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ① 千葉県文書館収蔵の総合教育センター資料中、木更津市域に係る資料の調査・撮影 ② 木更津市図書館収蔵（別置）の富来田地区行政文書の目録作成、撮影資料の選定と撮影 ③ 金田公民館収蔵の旧金田村役場文書、家文書の撮影資料の選定と撮影 ④ 富岡公民館所蔵の旧富岡村役場文書の撮影資料の選定と撮影 ⑤ 田川鈴木家の目録作成、撮影資料の選定と撮影 ⑥ 木更津第一小学校の撮影資料の選定と撮影 ⑦ 「金のすず」収蔵の梶家資料の調査 ⑧ 中郷・鎌足・富来田地区の資料調査 ⑨ 聞き取り調査 ⑩ 歴史的建造物の実地調査 ⑪ 旧千葉県史料研究財団が撮影しプリント済みの木更津市役所文書（千葉県文書館所蔵）の借用と複写 ⑫ 旧庁舎車庫棟に保管されている木更津市役所文書の撮影資料の選定と撮影 ⑬ 新聞資料の収集 		
平成29年1月から平成29年6月までの実施内容・進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ① 千葉県文書館収蔵の総合教育センター資料中、木更津市域に係る資料の調査・撮影を行った（6割程度終了）。 ② 実施していない。 ③ 旧金田村役場文書の撮影資料の選定と撮影は、7割程度終了。金田公民館収蔵の星野家文書の撮影資料の選定と撮影を終了。 ④ 富岡公民館所蔵の旧富岡村役場文書の撮影資料の選定と撮影は終了。 ⑤ 田川鈴木家の目録作成、撮影資料の選定と撮影は7割程度終了。 ⑥ 木更津第一小学校の撮影資料の選定と撮影は終了。 ⑦ 郷土博物館金のすず収蔵の梶家資料については、未撮影資料のうち撮影すべき資料の選定を行った（7割程度終了） ⑧ 鎌足地区と富来田地区の実地調査を行った。 ⑨ 斎藤道子さんと渡辺陽子さん、北村栄一さん、片山静江さんの聞き取り調査を実施した。 ⑩ 渡邊部会員を中心に歴史的建造物の実地調査を実施した。 ⑪ 実施していない。 ⑫ 実施していない。 ⑬ 実施していない。 <p>以上のほか、次のような調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑭ 木更津市図書館収蔵の山崎家文書、長沢文庫の目録作成、撮影資料の選定と撮影を行った（終了）。 ⑮ 君津市立図書館収蔵の君津市史編さん室収集資料中、木更津関係資料の選定・撮影を行った（5割程度終了）。 		

<p>これまでの取組に係る 課題点・懸案事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 地区の実地調査による資料収集の活動があまり成果をあげられていない。地区の実地調査を効果的に実施するためには、各地区における資料の保存状況に詳しい方々や、その地域の歴史を学んでいる研究グループなどとの協力・連携を深める必要がある。 ② 木更津市図書館の館外に別置されている富来田地区行政文書を図書館または恵春庵に移す必要がある。 ③ 旧庁舎車庫棟保管の木更津市役所文書の撮影資料の選定と撮影を行うためには、千葉県文書館が収蔵する撮影・プリント済みの木更津市役所文書の利用が不可欠であるので、早急に文書館と交渉し、借用の手続きをとっていただきたい。
<p>平成 29 年 7 月から 平成 29 年 9 月までの 調査等予定・見込み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 千葉県文書館収蔵の総合教育センター資料中、木更津市域に係る資料の調査・撮影を行う。 ② 金田公民館収蔵の旧金田村役場文書の撮影資料の選定と撮影を行う（終了の見込み） ③ 田川鈴木家の目録作成、撮影資料の選定と撮影を行う（終了の見込み） ④ 郷土博物館金のすず収蔵の梶家資料について、未撮影資料のうち撮影すべき資料の選定を行い、撮影を行う（終了の見込み）。 ⑤ 引き続き聞き取り調査を行う。

部会名	民俗部会	部会長名	和田 健
平成29度の活動計画	<ul style="list-style-type: none"> • 旧木更津町地区 祭礼調査を中心とした社会組織の運営及び年中行事の調査 • 木更津囃子、および獅子舞に関わる調査 • 金田地区 漁撈技術に関わる聞き取り調査 中島梵天立て調査 		
平成29年1月から平成29年6月までの実施内容・進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> • 八剱八幡神社の氏子組織に関わる聞き取り調査 • 八剱八幡神社夏の祭礼に関わる総代会の運営および青年会に関わる聞き取り調査 • 旧木更津地区町会の運営に関わる調査 • 桜井地区諏訪神社例大祭獅子舞に関わる調査 • 金田地区梵天立ての参与観察と記録 		
これまでの取組に係る課題点・懸案事項	<ul style="list-style-type: none"> • 旧木更津町地区・金田地区の年中行事および通過儀礼に関わる調査資料の収集に十分な準備ができていない。 • 調査体制のあり方と報告書の構成に向けて、部会全体での打ち合わせをする必要がある。 • 市民協働による調査者養成の講習会開催も合わせて検討をする。 		
平成29年7月から平成29年9月までの調査等予定・見込み	<ul style="list-style-type: none"> • 八剱八幡神社夏の祭礼調査（7月14～16日。実施済）に基づく、祭礼運営に関わる追加調査 • 旧木更津地区通過儀礼。人生儀礼調査 • 桜井地区獅子舞、および木更津囃子に関する追加調査 • 植田憲研究室（千葉大学大学院工学研究科教授）による金田地区文化資源マッピング調査活動での共同作業の実施 • 市民協働による調査者養成講座の開講を検討する。 		

部会名	自然部会	部会長名	山田 真
平成29度の活動計画	<p>環境分野</p> <p>①浸透実験池の水質調査（平成30年3月までを予定、2割程度終了）</p> <p>②航空写真等を用いた盤洲干潟のヨシ群落拡大過程の調査（平成30年3月までを予定、3割程度が終了）</p> <p>③海岸「横水路」の底生生物調査（平成31年度までを予定、始めたばかり）</p> <p>地学分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市域における下総層群のテフラ鍵層集の完成を目指す。 <p>動物分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昆虫類(バッタ類・甲虫類・カメムシ類・トンボ類・チョウ類・ハチ類・止水生昆虫等)の野外分布調査及び文献調査 ・淡水域魚類の野外分布調査及び文献調査 ・両生類・爬虫類の野外分布調査及び文献調査 ・鳥類の継続的野外観察調査 ・小型哺乳類(ネズミ・コウモリ)の野外分布調査及び文献調査 ・各部門の種リストの作成 <p>植物分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央博との合同調査を月1回行う。 ・本編目次項目を検討し、その項目案に沿った現地調査を開始する。 ・Y-Listを用いた種リストの作成に着手する。 		
平成29年1月から平成29年6月までの実施内容・進捗状況	<p>環境分野</p> <p>①浸透実験池の水質調査は4～6月までの採水が終了、一部分析項目が残っているが、順調に予定を消化中。</p> <p>②航空写真等の分析に用いるソフトウェアをQGISに決定。ジオリファレンスの勉強中。</p> <p>③下調べ&下見を4月より開始、現在までに予備調査1回、本調査を矢那川河口で1回実施。</p> <p>地学分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下総層群上部（清川層・横田層・木下層・姉崎層）および関東ローム層中のテフラ鍵層の所在の調査を行い、柱状図の作成、写真撮影するも、これら各層の分布はおもに市街地地域であり、露頭が少なく遅々として進まず。（おおよそ50%程度完成） （下部層（地蔵堂層、藪層、上泉層）については、ほぼ完成している。） <p>動物分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両生類：種リスト完成、分布は6～7割調査済 ・爬虫類：種リスト完成、分布は5～6割調査済 ・鳥類：種リスト完成、観察調査継続中 ・魚類：種リスト作成中 ・昆虫 <p>セミ種リスト完成 クマゼミの分布 3割程度済</p>		

	<p>バッタ類 種リスト（仮）の作成終了、種リストは6～7割済 甲虫 種リストの作成開始 カメムシ 種リスト作成開始 トンボ類・チョウ類の確認種数は現地調査で予想の6～7割、文献調査と合わせて8～9割を達成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハチ類・止水生昆虫・小型哺乳類の本格的な調査は今後の課題 <p>植物分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央博との合同調査を5回実施した、調査済地域は前年分と合わせて3～4割程度。 ・太田山の「あゆみ」の調査以後に芽生えたと思われる照葉樹の調査。 ・太田山の芝生広場の草本調査。 ・春彼岸の頃の浸透実験池外場の植物調査 ・矢那川土手、田川・佐野の植物調査
<p>これまでの取組に係る 課題点・懸案事項</p>	<p>環境分野 ③の横水路調査であるが、本年度開始の為、初めて立ち入る場所などではうまくいかないこともある。</p> <p>地学分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年月・時間が経つにつれて、露頭の風化（崩壊・破壊、植物によるブッシュ化）が進行しているため、これまで記載したいくつかの露頭がすでに観察不能の場所も出ていること。 <p>動物分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・爬虫類特にヘビ類については遭遇する機会がきわめて少ないので、自然部会委員からの情報を得たい。 ・ハチ類はこれまでに30種ほど採集・同定したが、種数が多いため、さらに5～10倍採集が必要であり、同定の最終確認を頼める専門家が必要である。 ・昆虫の文献調査を実施する必要があるが、範囲はどこまでにするべきかが懸案である。 <p>植物分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央博との合同調査とは別の個別地域調査を行いたいが、人員不足・メンバーの高齢化のため実施しにくい状況である。 ・種リストの整理方法について中央博と協議する必要がある。 ・同じ季節、また同じ場所の四季の変化が、草刈りや耕作状況の変化などで捉えにくくなっている。 ・人手が入らなくなり、林内が荒れて調査が困難な場所が増えている。
<p>平成29年7月から 平成29年9月までの 調査等予定・見込み</p>	<p>環境分野</p> <ol style="list-style-type: none"> ①浸透実験池の水質調査7～9月分の実施 ②航空写真及び、既往の植生図をソフトウェアへ取り込み ③横水路では、全調査地点を1回以上調査したい。実施可能なのは潮汐の関係上10月までと考えている。夏休みとなる8～9月に集中的に実施予定。

	<p>地学分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひき続き残りのテフラ（既存の論文などに報告されているもの）について、その発見に努める。 <p>（既存の論文に報告されているテフラと比較し、その特定ができない名称不明のものについては、とりあえず地点名と番号による仮称をつけ整理する。）</p> <p>動物分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バッタ類、甲虫類、カメムシ類、爬虫類の出現が最多の季節なので、野外分布調査を重点的に実施する。3～4日／月を予定 ・バッタ類、爬虫類の文献調査を実施する。1～2日／月を予定 ・ハチ類・止水生昆虫・小型哺乳類の現地調査 ・三沢氏よりデータを借用した文献目録の基本部分を具体化する。 ・木更津市図書館所蔵の文献紹介を作成する。 ・様々なアセス書からの種目録の作成。 <p>植物分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央博との合同調査を月1回行う。 ・Y-List を用いた種リストの作成に着手する。 ・市街地・干潟・蓮田の植物調査
--	--

※考古・古代・中世の専門部会は、平成29年度より設置。報告は年度末を予定。

4. その他研究機関との共同調査

①千葉県立中央博物館重点研究事業「千葉県内における維管束植物の分布変遷」木更津市植物相調査との共同調査

調査目的 東西に長く広がる木更津市には、東部の森林から盤洲干潟を代表とする西部の海岸平野まで、様々な環境が存在し、豊かな自然が残された地域であり、現地調査を行い植物相の解明を試みる。

実施期間 平成28年から3カ年（予定）

②木更津市史編さん事業に伴う木更津地区における和本共同調査

調査目的 近世文芸及び文芸を成立させた時代の諸条件、書籍の出版・流通のシステムや、教育の普及と読者の成立状況等について調査する。

実施期間 平成29年4月20日～平成30年3月31日

5. 平成29年度実施予定事業

①木更津市史編さん事業公開講座

②和田民俗部会長他による民俗に関する講演。開催日12月頃予定

③『木更津市史編さんだより』第2号の発行（11月3日予定）

④『木更津市史研究』創刊号の発行（年度末予定）

⑤『木更津市史編さん事業公開講座記録集』平成26～28年版の発行（年度末予定）

⑥『広報ささらづ』を活用した情報提供依頼

第1回木更津市史編集委員会 出席者名簿

開催日時：平成29年7月27日(木) 午後3時15分～

会 場：木更津市役所朝日庁舎 会議室B

	氏名	役職	専門分野等	出欠状況
1	すぎやま しげつぐ 梶山 林継	委員長	考古学、神道学	出席
2	なりた あつひこ 成田 篤彦	副委員長	自然（動物生態学）	出席
3	いしわだ ひでゆき 石和田 秀幸	委員	古代史	出席
4	いけだ しのぶ 池田 忍	委員	中世史・美術史・ジェンダー史	欠席
5	かわと たかし 川戸 貴史	委員	中世史	出席
6	じつかた ゆうすけ 實形 裕介	委員	近世史	出席
7	しまだて りこ 島立 理子	委員	民俗学・近代史	出席
8	たにはた みほ 谷畑 美帆	委員	考古学、人類学	出席
9	いしい よしゆき 石井 良幸	委員	郷土博物館金のすず館長	出席
10	やまぐち よしかず 山口 芳一	委員	企画部次長	欠席

（敬称略・順不同）

出席者：8名